

羽田空港勤務者の居住地調査結果について

- 国土交通省において、羽田空港に勤める従業員（約57,000人）に対して、その居住地について調査を実施（令和2年8月～10月）。
- 居住地を自治体別に見た場合、大田区（約18,000人）が圧倒的に多く、全体の約3割を占めている。
- 次いで、横浜市（約9,800人）、川崎市（約5,000人）、品川区（約2,400人）の順となっている。
- 都県別の場合、東京都が56%（約32,000人）、神奈川県が30%（約17,000人）、千葉県が10%（約5,400人）となっている。

